

平成26年4月23日

深谷中学校保護者様

深谷市立深谷中学校

## 本校の「開校記念日」について

深谷中学校は、今年で36年目を迎え、これまでに9571名の卒業生を送り出している誇り高き、伝統ある中学校です。

本日4月23日は、本校の36回目となる、記念すべき「開校記念日」です。そこで、深谷中学校の「学校沿革誌」を少しだけ紐解き、その内容につきまして、いくつか御紹介させていただきます。

なお、内容については、原文のままを記載させていただきました。



### 【大寄中学校沿革誌】から

昭和22年4月 1日 …… 昭和22年法律第26号により、埼玉県大里郡大寄村立大寄中学校として創立される。

昭和22年4月23日 …… 大寄村大字内ヶ島659の2大寄村立大寄小学校内に併設開校される（この日を開校記念日とする）。

### 【旧深谷中学校沿革誌】から

昭和22年4月 1日 …… 新学制の実施により深谷小学校の一部（教室17，職員室1，校長室兼応接室1）を仮用して設置し、深谷町立深谷中学校を創立する。

昭和22年4月23日 …… 深谷町立深谷中学校開校並びに入学式を挙げる（この日を開校記念日とする）。

昭和51年11月29日の深夜、大寄中学校で火災が起こり、授業の実施が困難となったために、大寄小学校へ移転する。



### 【深谷中学校沿革誌】から

昭和54年4月 1日 …… 旧深谷中学校と旧大寄中学校を統合させ、深谷中学校と称し、発足する。

昭和54年4月 9日 …… 市長・議長・教育委員長・教育長の臨席のもとに、開校式を挙げる（開校記念日は4月23日とする）。

※ 開校当時の生徒数は、35学級（通常学級34，特殊学級1）の1486名で、現在の約3倍（現在の生徒数は496名）の大規模でした。

— 裏面に続く —

## 【特記事項】

### ○ 校舎等の概要（昭和54年3月1日：普通教室棟、管理棟、体育館の完成）

所在地 深谷市大字田谷45番地2

敷地面積 44035.0㎡

建物面積 4階建校舎6604.9㎡

給食場 292.0㎡

体育館1183.0㎡

総事業費 14億3121万円

プール面積 805.0㎡

水槽 85.0㎡

事業費 5800万円



撮影 昭和55年3月18日

### ○ 学校教育目標

#### 開校当時の学校教育目標

21世紀に生きる生徒像をめざして

1. 自ら考え 自ら学ぶ生徒
2. 他人に対し思いやりのある生徒
3. 進んで心身を鍛える生徒

#### 現在(平成26年度)の学校教育目標

志高く

1. 自ら考え 学び続ける生徒
2. 心豊かで 思いやりのある生徒
3. 体を鍛え やり抜く生徒

※ 開校当時の教職員数は、59（校長1，教頭1，教諭53，養教1，栄養職員1，事務職員2）名で、現在のような市費の教職員は配属されていませんでした。深谷市の教育財政に感謝です。

また、開校直後の7月には、文部省からの指定により、昭和54年度「格技指導推進校（3年継続）」の委嘱を受けています。今年度、本校は市教委による委嘱校です。



36年前の校舎

### 深谷中学校の校章の制定について

本校の校章は、昭和54年5月14日に制定されました。

開校ときに、校章の募集があり、多くの作品の中から、第1回卒業生「藤橋秋子」さんの図案が選ばれました。そのデザインは、旧深谷市の市章を参考に、「フ・カ・ヤ」の3文字を「中」の字に形取るという発想から考案されたものだそうです。「藤橋秋子」さんが考案した校章を、その当時、美術担当の「大谷 守」先生が、さらにアレンジを加え、右上のデザインが、深谷中学校の校章として、正式に制定されました。この校章には、地域在住の先輩たちの願いや思いが込められています。全校生徒及び全教職員の心を1つにし、これからも大事にしていきますので、今後とも御支援をよろしくお願い致します。



私たちは、数々の人々の支えを受け、「今がある」ことを決して忘れてはいけないのだと思います。多謝

**合言葉** 「深谷」という るさに誇りをもち がやさしい未来に向かって くどうし続ける生徒